

11/12 (日) 「加齢性難聴と補聴器を考える集い」 強い関心！ 県内オンライン含めて120名が参加！！



11月12日(日)金沢市の近江町市場交流プラザにて「加齢性難聴と補聴器を考える集い」を、年金者組合石川県本部、健康友の会連合会と共催しました。雨の中に関わらず、県内各地からオンライン含めて120名の参加者で大盛況でした。この問題の関心の高さを実感しました。

はじめに、金沢市にあるひょうたん町耳鼻咽喉科の石丸正先生から、加齢性難聴とはどういうものか、その対応について講義。「実は耳垢が詰まっている場合もある」や集音器と補聴器の違いなど、分かり易く解説され「加齢性難聴の多くは、脳の老化ではなく内耳の老化」であること、「難聴は認知症の大きな誘因」となっていること、補聴器助成の海外や他県との比較など図で示され、とても分かり易く興味深い内容でした。

次に特別報告として、金沢駅西みみはなのどクリニックの石政實先生が金沢市の聴力検診の紹介を行い、続いて理研産業株式会社の徳野広康支店長から、補聴器の種類や特徴などを紹介いただき、それぞれ会場からも沢山の質問が出されました。

フロアから2名の方が体験談を語られ、補聴器を付けて本当に助かっているということ。しかし値段が高いことが述べられました。

集会の最後に、健康友の会連合会の杉本満会長から「補聴器購入助成制度を実現しよう」と署名行動の提起がされました。

金沢市では今月署名提出行動を予定しています。

↑上段右：講演する石丸正先生（ひょうたん町耳鼻咽喉科院長）
下段：真剣に聞き入る会場一杯の参加者

11/11「介護の日」 介護・認知症なんでも無料電話相談



11月11日(土)「介護の日」に全国で取り組まれている「介護・認知症なんでも無料電話相談」を、介護福祉利用者と家族の会と共同で開きました。社会福祉士やケアマネジャーなど7名が対応しました。

10時から15時まで、相談者は3名のみでしたが、介護保険制度への不満やサービス利用の方法、特養ホームについて、病院から退院を迫られて困っていることなど相談がありました。

テレビ報道を見てと言って電話をかけてきた方もいました。

←電話相談に応える相談員。傾聴する姿勢を徹底。

